

災害時の避難所等における 新型コロナウイルス感染症対策について

5月30日に九州南部の梅雨入りが発表され、これから本格的な大雨時期を迎えることとなりますが、新型コロナウイルス感染症は、先の見えない状況が続いています。

新型コロナウイルス感染症が心配される状況下において、大雨などの自然災害が発生し、避難所を開設する場合は、感染症対策に万全を期すことが重要となります。

町では、避難所における感染症対策を進めておりますが、感染症の防止には、避難者全員の協力が不可欠となります。町民の皆様も、引き続き感染症対策を行っていただきますようお願いいたします。



皆様をお願いしたい感染症対策

事前の対策

【避難所以外への避難の検討】

- ・大雨においても自宅周辺に土砂崩れや浸水などのおそれがなく、自宅での安全を確保できる場合は、感染リスクを背負ってまで避難所に行く必要があるか検討しておきましょう。
- ・親戚や友人の家、近所の安全なところ等、避難できる場所はないか、事前に検討しておきましょう。

【感染対策用品の準備】

- ・避難時の非常持出品に、マスク、体温計、スリッパ（屋内用とトイレ用の2足）、アルコール消毒液、使い捨て手袋など感染対策用品を追加しておきましょう。

【避難所への避難に備えて】

- ・避難所を開設した場合、受付で避難者カードと健康状態チェックシートへの記入をお願いします。（パソコンをお持ちの方は、肝付町のホームページから様式をダウンロードできますので、事前に記入してから避難所に持参されることをお勧めします。）

避難所での対策

避難所では、感染症対策のために、次のことをお願いしますのでご協力ください。

- ① 感染症予防に必要なもの、避難生活に必要なものは、各自準備したものを使用する。
- ② 避難所では、基本的な感染症対策（マスク着用、手洗いや消毒、咳エチケットなど）を徹底する。
- ③ 持参した体温計で毎日、体温を計り、健康管理に努める。
- ④ 発熱や咳、息苦しさなどの症状がある場合は、すぐに避難所の職員に報告する。
- ⑤ 避難者同士が密接しないよう、十分な距離（概ね2m）をとる。
- ⑥ 定期的な換気を心掛ける。
- ⑦ コップやタオルなどの共用はしない。
- ⑧ 履物は、屋外用と屋内用、トイレ用の区別をする。
- ⑨ トイレは使用方法を厳守し、トイレの環境美化、清掃、消毒に協力する。
- ⑩ そのほか、円滑な避難所運営へのご協力をお願いします。

感染症防止のために必要となる最低限の項目となりますので、ご協力をお願いいたします。

お問い合わせ先 肝付町役場 総務課 消防交通係 0994(65)8421